

歯科の 適正医療費は 4兆3,800億円

参加費
無料



■ 講師 **中道 勇氏**

— 歯科医療問題の最大の謎に迫る —

かつて医科の70%であった歯科の保険収入は、同じ保険医であるのに医科の43%と不条理な状況で、歯科界全体には何ともいえない閉塞感が漂い続けている。

演者は、平成3年から歯科医療問題について執筆し、本年で32年になる。平成21年には「歯科の適正医療費は4兆円」を東京医科歯科大学の新田浩先生と記述し、平成24年には、日本歯科医師会の総合政策検討プロジェクトチーム報告書で、日本歯科医学会のタイムスタディー調査結果を使い、適正歯科医療費4兆円の根拠を実証的に証明した。

最近になり、適正医療費4兆円が注目されることとなり、演者は適正歯科医療費が、なぜ達成できなかったかという歯科医療問題の最大の謎に迫ってみた。

新医療費体系ができた昭和33年から59年までの26年間、本来は「技術」と「物」を分離し、適正な技術料評価がなされるはずであったが、歯科の改定においては、物を含めた総医療費を対象に「技術」と「物」を分離せず診療報酬改定を行ってきたため、保存修復及び欠損補綴の技術料は適正点数の半分の評価になり、昭和56年からの16年間の医科歯科の改定率の格差が技術料の低評価に拍車をかけたというのが結論である。その結果、点数間のアンバランスもはなはだしい状態である。今回の講演で、官僚主導の日本の歯科医療は何を間違えたのかを解説し、希望の持てる歯科界を再び取り戻すための一助としたい。

【略歴】

昭和52年3月 東京医科歯科大学歯学部卒業
(学部25回生)
昭和52年4月～昭和58年9月
東京医科歯科大学文部教官助手
(歯科保存学第一講座)
昭和58年10月～現在 中道歯科医院院長
平成元年4月～現在 労働衛生コンサルタント
(保第1218号)
平成6年4月～平成15年3月
富山県歯科医師会理事
(成人・産業歯科保健担当)
平成17年2月～平成18年3月
富山県歯科医師会副会長
平成21年4月～平成27年6月
富山県歯科医師会専務理事
平成29年7月～令和3年6月
富山市歯科医師会会長

■ 開催日時

2023年9月28日 木
19:00 ~

■ 開催場所 **東京医科歯科大学
1号館西9階特別講堂**

■ 定員 **会場 100名**

■ 申込方法 E-mailまたはFAXでお申し込みください。

申込先アドレス：info@ikashika-dent.com

FAX番号：03-3815-1851

以下の内容をご記載ください。

- ①件名：医療制度検討委員会講演会申込み
- ②氏名 ③E-mailアドレス ④住所
- ⑤電話番号・FAX番号

お申込締切：令和5年9月25日(月)